

# 町長に直接質問しました

# 中学生生議会

日頃から考えている「ふるさと沼田町」についての希望や課題を見出し、実際の町議会議場で町長に質問をぶつける「中学生議会」が沼田町議会主催で、10月30日（水）役場3階議場で行われました。

沼田中学校3年生は、関係機関に取材を行ない、調べてきた資料を町長に提示しながら質問し、町長は一つ一つ丁寧に回答していました。



## ■施設の充実さ①

- 多田心咲 さん 中村 浩 さん  
齋藤留可 さん 横山晴哉 さん
- ① 石狩沼田駅はそのまま残り、線路はレールマウンテンバイクに活用してほしい
  - ② SNSで沼田町にある施設の魅力を発信してほしい

## 町長回答

① 「施設の充実」という中で、皆様からは「沼田町内の施設があまり知られていない」、また「施設の良さが知られていない」といった非常に厳しい指摘がありました。

町内の施設利用については様々な取組を進めているところですが、改めて、皆様のご指摘を真摯に受け止めて、利用者増に向けた取組を進めたいと思います。

また、「施設の活用」という中で、石狩沼田駅をそのまま残り、線路は「レールマウンテンバイク」にしてはどうかというご提案があり

ました。

他のまちの事例を参考にしながら、JR留萌本線が廃線となった後、石狩沼田駅などの「鉄道遺産」をどのように活用していくかは、決まっているものではなく、町民から広く意見をいただいた中で、そして、今後の沼田町の未来のことも考えた中で、活用方法を検討していきたいと思っています。

② 施設の魅力発信も大切な事ですが、住み続けるには「働く場所が少ない」ことが一つの原因であるとも思っています。皆さんが沼田町に残り、働いてみたいと思えるような「魅力ある仕事やプロジェクト」を打ち出し、環境整備ができればと考えています。

また、過去の中学生議会でも沼田町の観光スポットや知らない場所があるという質問をいただいたことから、皆さんに町の魅力を知ってもらうために、「謎解き観光ツアー」を企画し、町の魅力を感してもらうきっかけ作りを行っています。

どうか沼田町の応援団として、皆さんが体験したことをSNSで発信して頂ければ沼田町のPRに

## ■施設の充実さ②

- 長井 結 さん 井上礼唯 さん  
吉本流花 さん 中澤杏音 さん
- ① 廃線鉄道（列車）を宿泊施設として活用してほしい
  - ② ビール工場ができるので、沼田町の特産品を使ったビールのおつまみを開発、ビールを飲めるスペースもつくり、じっくり味わってほしい

## 町長回答

① 施設の活用方法の例として、石狩沼田駅で、列車を「宿泊施設として活用」してはどうかというご提案ですが、皆さんがJR廃線後の施設活用について、色々考えてご提案いただいたことに大変ありがたく思っています。

石狩沼田駅などの鉄道遺産の活用方法については、町民から広く意見をいただいた中で、活用方法を検討し、決めていきたいと考えていますので、皆さんからいただいた意見も活用方法の一つとして検討していきます。

② ビール工場ができるので沼田町の特産品を使った「おつまみ」や、「お酒を飲めるスペース」を作ってはどうかというご提案についてですが、現在、石狩沼田駅の横にクラフトビール工場を建設中であり、来年の4月から稼働する予定となっています。

ご提案いただいているとおり、クラフトビールを作るだけでなく、それに合った沼田独自の特産品（おつまみ的なもの）があったら良いなと我々も思っていて、今後、町内の料飲店や「地域おこし協力隊」として活動している方の協力を得ながら、開発できればと考えています。

クラフトビールやそれに合った新たな特産品などが開発されることよって、沼田町を広く知ってもらい、多くの方が来訪いただけるような環境を作ることが出来るのではないかと考えています。



## ■人口問題

川嶋一歌さん  
川嶋惺南さん  
川嶋惺南さん  
川嶋惺南さん

青木悠利さん  
横山皓士さん  
平泉彩羽さん

- ① 誘致した会社や工場への支援を手厚くしてほしい
- ② 沼田の良さを知ってもらうためにSNS活動を増やしてほしい

## 町長回答

① 「働く場所がない」そして「沼田の良さを知ってもらえていない」という課題と、その改善策として「誘致した企業等への支援を手厚くする」という提案がございました。

我々としても、人口問題というものを考えたとき、ご指摘の「働く場所の確保」というものが非常に重要であると考えていて、毎年5000社へのアンケート調査を行い、有意回答を得た東京をはじめとする全国各地への企業訪問や、オンラインを活用した企業誘致活動などの企業を呼び込むための取組を行っています。

また、誘致した企業などに対する、まち独自の手厚い補助制度な

ども設けており、企業誘致用のパンフレットを沼田町独自で作成して、PR活動を行っているところですが、

働く場所が増えることにより「雇用の創出」が生まれ、それが「人口の増加」につながり、「町の活性化」が図られるものと考えていますので、本町独自の資源を絡ませながら我が町ならではのまちづくりを提唱していきたいと考えています。

また「沼田シリコンバレー構想」の実現を目指し、IT機器や映像システムの各種試験地として世界中から本町に技術者を呼び、様々な研究が出来る町として認知されることよって、将来ベンチャー企業が集積される「町」となれるような取組を調整中です。

このほかにも独自の素材や資源が豊富であり、その資源を宝に変え利用する基礎を創り上げることよって、100年後も持続可能な町であり続けられると考え町づくりを進めているところです。

しかし、私が考えるまちづくりが皆さんの思いに共感されなければ効果が半減することも事実ですので、今後のまちづくりへの参考

とするためにも可能ならば皆さんが思う「働いてみたい環境や仕事のイメージ」などをお聞かせいただきたいと思います。

皆さんが社会に出て「沼田町」が光り輝く町であり続けられるように今後も全力で努力していきますので、どうか応援をよろしくお願いたします。

② 町では公式のSNSとして、フェイスブック、X（旧ツイッター）、インスタグラム、ラインを使いイベントなどの情報発信を行っています。

また、ユーチューブでは町の紹介を含めた動画投稿を活用してPRに取り組んでおり、「夜高あんどん祭り」の様子をライブ配信するなど、沼田町の魅力を発信し観光客の増加にも繋がっています。

現在では、身近にインターネットを利用できる環境が整っていますが、使用するSNSによつては、発信内容を誤ると沼田町に不利益を与える可能性もあることから、発信内容を十分に精査し、各SNSの特徴を生かし効果的で効果的な情報の発信に努めていきたいと思えます。